

／どうなっているの？／



令和6年度

旭川市の決算状況



決算は、4月から翌年3月までの1年間にどのような収入があり、何にどれだけお金を使ったのかという結果です。令和6年度の決算と財政の状況をお知らせします。
【詳細】財政課☎25・5672

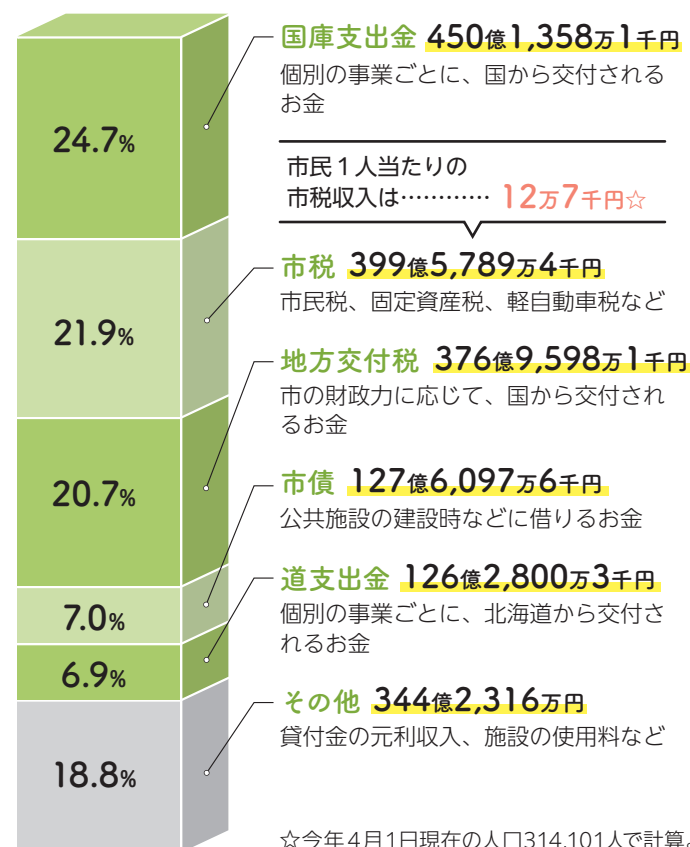
一般会計

道路や公園の整備、学校の建設、福祉事業、市民活動の支援、ごみ処理、健康づくりなど市の仕事を行うための基本的な経費に關しての会計です

収入

1,824億7,959万5千円

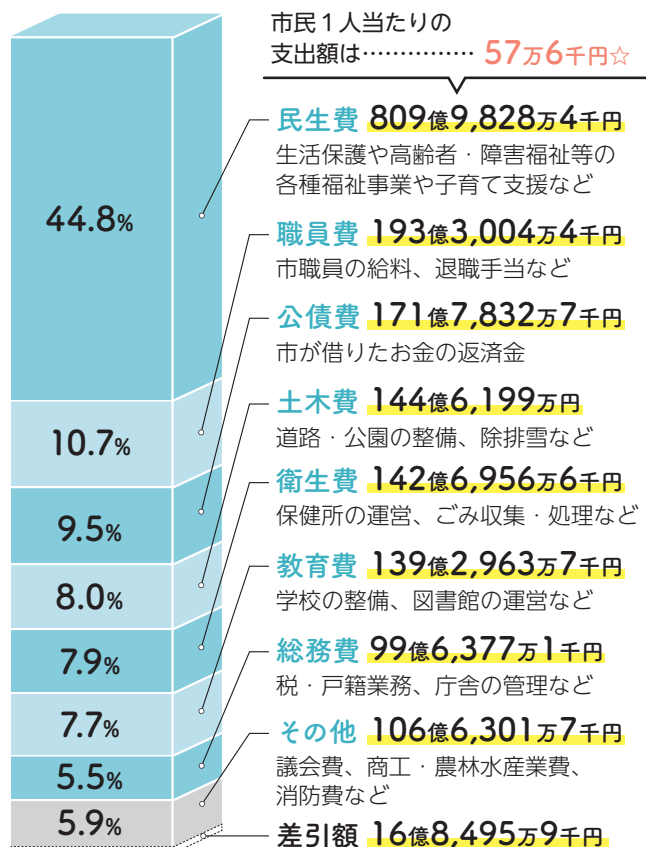
(前年度比 2億7,618万1千円増)



支出

1,807億9,463万6千円

(前年度比 2億1,800万3千円増)



①収入と支出の差引額 **16億8,495万9千円**

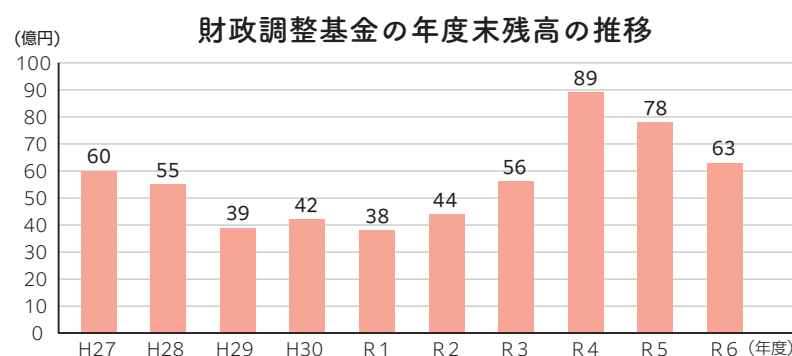
②令和7年度に繰り越した事業に使う額 **2億936万3千円**

➡ ①から②を差し引いた③実質的な収支額は **14億7,559万6千円**となります

市の貯金の状況は？

財政調整基金は、災害などの予期しない支出や年度間の財政調整のための貯金です。令和6年度は積立額以上に取り崩したため、年度末残高は前年度より減少して63億円になりました。

※条例に基づき、③の半分（8億円）を積み立てたため、同7年6月時点の残高は71億円です。



特別会計

市民の皆さんが納めた保険料等によって事業を運営するなど、特定の収入を特定の支出に充てるため、一般会計とは別に設けている会計です



会計名	収入	支出	収入支出差引額
国民健康保険事業	335億7,594万円	333億3,750万1千円	2億3,843万9千円
動物園事業	18億9,556万6千円	18億9,556万6千円	0円
公共駐車場事業	8,193万4千円	8,186万7千円	6万7千円
育英事業	2億2,528万3千円	2億2,413万円	115万3千円
介護保険事業	374億3,014万円	369億2,505万6千円	5億508万4千円
母子福祉資金等貸付事業	2億8,183万4千円	2億848万9千円	7,334万5千円
後期高齢者医療事業	63億1,131万円	63億768万8千円	362万2千円
合計	798億200万7千円	789億8,029万7千円	8億2,171万円

公営企業会計

地方公営企業法の適用を受け、民間企業のように利用者からの利用料などによって事業を行う会計です



会計名	区分	収入	支出	収入支出差引額
水道事業	収益的	68億1,973万2千円	58億3,702万4千円	9億8,270万8千円
	資本的	36億7,234万5千円	72億6,491万6千円	△ 35億9,257万1千円
下水道事業	収益的	93億5,321万7千円	89億9,332万4千円	3億5,989万3千円
	資本的	21億2,407万4千円	48億7,263万8千円	△ 27億4,856万4千円
病院事業	収益的	120億9,782万円	134億7,580万7千円	△ 13億7,798万7千円
	資本的	15億4,884万円	21億3,971万3千円	△ 5億9,087万3千円

※収益的収入・支出＝水道料金、下水道使用料、病院診療報酬などの収入と、人件費や維持管理費、減価償却費、借入金の利子など事業の運営に必要な支出です。

※資本的収入・支出＝施設や設備の建設改良などの支出と、その財源となる企業債などの収入です。

※△は不足額。資本的収支の不足額は内部留保資金で補填しました。

市の借金の状況は？

市債とは、市が公共事業などを実施するための借金のことです。市債には、資金を調達する他に、利用する市民などの世代間の負担を公平にする役割もあります。令和6年度は小学校の増改築に伴う借り入れなどで、前年度より建設事業等債は増加したものの、市債残高全体では減少傾向です。

特別減収対策債等

新型コロナウイルス感染症の影響による収入の不足分を補うために令和2年度に借りたお金

臨時財政対策債

国の財源不足による地方交付税の不足分を補うために借りたお金

建設事業等債

道路や学校などの建設事業などに必要な財源として借りたお金

